



共同通信社からのインタビューに答える
浅川局長（右側）

いう中で、当局管内で大型製材工場、木質バイオマスの施設が操業を予定されているといった森林・林業関係では大きなプロジェクトがスタートするという明るい、前向きな兆しが出てきています。国有林の人工林も適齢の伐期になっており、このような動きを更に進めていけるように、木材

の安定供給等に取り組んでいきたいと考えています」等の挨拶がありました。その後、各記者からは、「大型製材工場、木質バイオマス施設の操業が予定されていることやそのことに関連するCLT、また、森林保護・育成の観点から二ホンジカ被害対策等に対して森林管理局としてどの

ように取組をおこなって行くのか」等の多くの質問がありました。また、二月五日には、共同通信社からの単独取材もありました。

一月二六日、高知市立介良小学校において、森林教室と木工教室を実施しました。この催しは、介良小学校から、親子が参加するイベント「ふれあい参観日・介良祭り」の体験学習コーナーの一つとして、木工製作の体験活動を通じて森林への理解を深めさせたいと、当局に森林・木工教室の依頼があったものです。



- ・昭和六〇年四月 林野庁入庁(林政部林政課)
- ・平成二二年一月 林野庁林政部林政課調査官
- ・平成二三年八月 林野庁国有林野部管理課長
- ・平成二四年八月 農林水産省経営局総務課長
- ・平成二六年一月 現職

当日は、地域の方々の協力で、二〇の体験コーナーが設けられ、森林・木工教室には二〇組の親子等が参加しました。はじめに、森林の大切さや、働きについて、DVDによる紙芝居を見てもらい、理解を深めてもらいました。木工教室では、今回、参加する児童に作品の見本を事前に配り、それぞれが希

望する作品を作製してもらいました。「色塗りが大変」「目など細かい物を貼り付けるのが難しい」などの感想を聞きましたが、自分が気に入った作品だけに、どれも、素敵な仕上がりました。また、参加児童の未就学の弟・妹たちや、作品が仕上がった児童には、ジージージェミを作ってもらい、こち



オリジナルな作品の完成

らも大変な人気でした。

今回のイベントは、森林の大切さや木の良さを理解してもらっただけでなく、学年末終盤のイベントとして、親子で一つの作品を作り上げるという良い思い出作りの機会になったのではないかと思います。その作品をいつまでも大切にしてみらいたいものです。



作製方法の説明を行っている正岡さん

各地のたより



一月一七日、四万十市立具同小学校の六、四年生七二名を対象に、森林教室を行いました。

最初の「森林の働き」については、森林には「水を蓄える」、「山崩れを防ぐ」、「快適な環境をつくる」、「地球の環境を守る」などの働きがあることを学習しました。その後の「森・川・海のつながり」では、森で作られた栄養分が川から海へ流れ、プランクトンや昆布や魚の栄養となっていること

「森・川・海のつながり」



を説明。また、山に木を植えて間伐等の手入れすることによって、森が豊かになれば、川へ流れる栄養分も絶えることなく、魚やエビ・ウナギ、ホタテなど川や海の魚介類が美味しいく成長することを説明しました。今回、講義の後に質問す

る生徒も多くあり、森林への関心も高く、森林や自然環境などについての理解を深めてもらえたと思います。



二月八日、徳島県徳島市の渭北公民館で実施している「わくわくクラブ」活動の一環として森林教室を実施しました。当日は徳島市内ではめったにない積雪となり、参加者が減るののではないかと心配もありましたが、小学生二三名の参加があり無事に「写真立てづくり」を行いました。

始めに当署職員が徳島県の森林の特徴や、間伐作業の必要性について話をしま

した。間伐作業の説明では、子供たちに一カ所にぎゅうぎゅうに集まってもらい、その後にはちよつと隙間を開けてもらうことで、間伐前後の木の気持ちを疑似体験してもらいました。子供たちは最初、森の木を切ることは悪いことだと思っていたようですが、森を育てるためには間伐をすることが大切であるということ、間伐作業で伐られてしまふ木を無駄にせずに使うことが大切だということを理解してくれました。その後、写真立ての作り方や工具の使い方などの説明を行い、写真立て作りをスタートしました。子供たちは写真立てのベースを作り終えると、飾り用に準備してある材料を使って動物や昆虫のマスコットを作っていました。時間の経過とともに

ました。時間の経過とともに

に木片や木の実などの材料を組み合わせながら、見本には無いオリジナルのものを色々と作っていました。今回は公民館主催のイベントであり、公民館職員のほか、複数のボランティアスタッフの方の協力もあって、子供たちからの様々な要望に汗をかきながら応えていただきともありがたいた存在でした。

この森林教室を主催した渭北公民館では年間を通じて色々なイベントを行っています。子供たちにとっては「森からのおくりもの」であるドングリなどの材料を使って自由に物をつくる機会はほかにはないそうです。当署としては、森林や木製品に興味や関心を持ってもらえるように、今後継続して森林教室を実施していく予定です。



オリジナルの写真立て完成



間伐前の木の気持ちを疑似体験(ぎゅうぎゅう)

また、森林教室の様子は当日のNHKの昼のニュースで放映されました。

四国森林・林業研究発表会 発表課題及び審査結果

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
1	アンケートを活用した森林教室の試み	四国森林管理局技術普及課 緑の普及係長 臨時職員	西山 扶美 秋山 雅弘	
2	公募による出前森林教室の実績と今後の森林環境教育への取組	徳島森林管理署 森林整備官	諸星 雄二	
3	黒尊渓谷親水公園の自然再生について	四国森林管理局四万十川森林ふれあい推進センター 自然再生指導官 しまんと黒尊むら 代表	曾我部 稔 田辺 義武	
4	奈半利川地区で発生した大規模崩壊に関する実態調査報告	安芸森林管理署 総括治山技術官 国土防災技術株式会社	田上 弘樹 宮本 卓也	
5	大正時代の治山事業調査	愛媛森林管理署 治山技術官	福田 薫	(一財)日本森林林業振興会会長賞
6	南つるぎ地域活性化協議会の剣山南側地域活性化への取り組みと今後の課題	南つるぎ地域活性化協議会会長 徳島森林管理署 森林技術指導官	平井 滋 柏木喜代幸	
7	ノウサギによるヒノキ造林地での被害と駆除方法の検討	四万十森林管理署 三原森林事務所森林官 徳島森林管理署 森林整備官 (前三原森林事務所森林官)	濱崎 昭和 諸星 雄二	
8	徳島県版シャープシューティング実証試験についての報告	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南)環境担当課長補佐	森 一生	四国森林管理局局長賞(優秀賞)

発表順	発表課題	発表者		審査結果
		所属	氏名	
9	下刈省力化とシカ害対策に向けた新たな試みについて～エリートツリーの植栽とシカ対策クリップの導入～	四国森林管理局 森林技術・支援センター 所長 高知中部森林管理署 別府森林事務所森林官	池本 育利 小松 大高	
10	ツリーシェルターを用いた低コスト造林手法の効果と課題	住友林業フォレストサービス(株) 森林企画部	難波海南子	(一社) 日本森林技術協会理事長賞
11	「困いわな」によるシカ捕獲試験～経過報告～	四国森林管理局 森林技術・支援センター 業務係長	佐竹 祐記	
12	鳥獣被害対策に於けるくくりわなの改良・開発	三原村森林組合	大塚 真紀 小笠原 洋	四国森林管理局 局長賞(最優秀賞)
13	観音寺市分収造林地の今後の取扱について検討	香川森林管理事務所 総括森林整備官	横山 敬吾	
14	「H型架線集材システム」～急傾斜林地における効率的な集材システム～	株式会社とされいほく 業務課長 嶺北森林管理署 主任森林整備官	石垣 久志 森下 寿広	四国森林管理局 局長賞(優秀賞)
15	香北町観音堂の製作	高知県立高知工業高等学校 建築科3年生	池田 翔 江口 立晟 柏原 明典 熊谷 勇哉 西原 朋宏 笹岡 俊介 高島田裕也 谷口 公星 土居 大樹 西村 公希 松廣 周 山崎 龍二	四国森林管理局 局長賞(優秀賞)
16	「四万十高校演習林の現状」	高知県立四万十高等学校 自然環境コース3年生	本山 和樹 沖 佳純	四国森林管理局 局長賞(奨励賞)
17	四国地域の国有林内およびその周辺地域における翼種目生息確認調査 ※特別発表	四国自然史科学研究センター センター長	谷地森秀二	
18	固有樹種シコクシラベの保存にむけた取り組み ※特別発表	(独) 森林総合研究所林木育種センター 関西育種場 育種課 主任研究員 遺伝資源管理課 収集管理係長 育種課 育種研究室長 育種課 主任研究員 育種課長	岩泉 正和 笹島 芳信 磯田 圭哉 河合 慶恵 久保田正裕 山口 和穂	
19	愛媛県民有林における再造林適地判定の試み ※特別発表	愛媛県農林水産研究所林業研究センター 研究指導室長	豊田 信行	
20	ウスキキヌガサタケの栽培技術 ※特別発表	高知県立森林技術センター 研究員	澤田 浩幸	
21	人工林の間伐が生物多様性に及ぼす影響 ※特別発表	(独) 森林総合研究所四国支所 流域森林保全研究グループ長	佐藤 重穂	